

第15回全伯国費留学生同窓会全国会合冒頭挨拶  
林大使挨拶（3月12日（土）実施）

皆様、おはようございます。

本日、第15回全伯国費留学生同窓会全国会合が、伯全国各地からの代表者の出席を得て対面で行われますこと、ABRAEXをはじめ関係者のご尽力に深く感謝申し上げます。

私は昨年12月にブラジルに赴任したばかりですが、これまで中南米に関わる仕事を長年してきました。ブラジルは、国費留学やJICAの研修において日本で学んできたもの同士がネットワークをつくり、様々な交流や日本関連のイベントの開催を積極的に行っていると聞いています。ブラジルでの取り組みは世界の国々に参考となる成功事例とされています。

是非、本日は、帰国留学生のネットワーク強化や日本留学促進、日本文化関係イベントの開催等様々な活動の状況が聞けることを楽しみにしております。

各団体、熱心に取り組んで頂いていただいていると思いますが、未だ、新型コロナウイルスの影響で色々ご苦勞も多いと思いますので、本会合を通じて忌憚のないご意見を聞かせていただければと思います。

現在、国費留学生も含めて日本に外国人が入国も徐々に再開ははじめました。しかしながら、以前と同様に渡日することは未だ難しい状況ではあり、日本への留学・研修を希望する方々は心配していることと思います。日本国大使館や各領事館は、ブラジル人が日本に留学することを促進するために、皆様と協力しながら、渡日を希望するものの不安を取り除く努力を行っていきたいと思います。

最後になりますが、本日お集まりの全国の同窓会の皆様の更なるご活躍とご健勝、そして日伯の一層の友好親善を祈念致します。有り難うございました。

（了）